

上智大学 村田真一教授と能楽師 河村晴久氏

ウクライナのキエフ、ポルタワにて講演

当研究所所員の村田真一教授（外国語学部ロシア語学科）が、能楽師の河村晴久氏とともに2018年2月、ウクライナの首都キエフおよび中部の都市ポルタワにて、日本の能を紹介する講演を行いました。内容は能の成り立ち、歴史についての解説で、河村氏による実演や来場者による能の体験も行われました。

15日から16日にはキエフのタヴリヤ大学と演劇大学、国立劇場にて講演。それぞれ約100人、50人、300人の来場者がありました。19日にはポルタワの教育大学と劇場にて講演され、合計約200人が来場しました。

村田教授と河村氏はタヴリヤ大学にて、詩人ヴェリミール・フレーブニコフの創作をモチーフにした絵画コンクールの展示会場にも足を運ばれました。この絵画コンクールの作品展示は2012年からヨーロッパ研究所の協力のもと、上智大学中央図書館でも行われてきました。

なお河村氏は2017年10月、文学部保健体育研究室開講科目「知としての身体を考える」の一環として本学にて講演。2018年秋にも再び講演が予定されています。

本企画は日本学術振興会（JSPS）にご支援いただきました。また現地での広報は、本学卒業生で、在ウクライナ日本国大使館勤務の生田泰浩氏と伊藤有里氏が積極的に行なってくださいました。お二人をはじめ、大使館の方々に感謝申し上げます。



実演される河村氏と
通訳される村田教授（国立劇場）



能の詩を背景に実演（国立劇場）



ウクライナの有名俳優とともに（国立劇場）



装束を紹介（ポルタワ・ゴゴリ劇場）



河村晴久氏プロフィール：

同志社大学大学院文学研究科修了。父河村晴夫、伯父河村禎二、叔父河村隆司、および13世林喜右衛門に師事。今までに「猩々乱」「石橋」「道成寺」「安宅勸進帳」「屋島弓流」等を披く。日本能楽协会会员。重要無形文化財「能楽」総合認定保持者。能楽協会京都支部常議員、教育特別委員会委員。株式会社能楽舎代表取締役。同志社大学嘱託講師、佛教大学四条センター講師。平成17年度文化庁文化交流使（アメリカに一月半滞在しハーバード大学などで活動）演能のほか、大学での授業、講演、海外での講演活動も多い。平成6年のワシントンでの公演を始め、平成20年にはパリのユネスコ本部で講演、公演するなど、海外での英語による公演は40回を超える。『対訳で楽しむ謡本』（檜書店刊）解説等執筆中。



会場の村田教授と河村氏（タヴリヤ大学）



能の実演をされる河村氏（演劇大学）



満員の講演会場（ポルタワ教育大学）